

枚方市駅周辺再整備に関する市民説明会

枚方市

説明会の開催にあたりお願いしたいこと

- ・スマートフォン、携帯電話は電源を切るかマナーモードに設定をお願いします。
- ・説明会の進行中は私語などをお控えください。
- ・施設内での宣伝・勧誘行為、横断幕・のぼりの設置、ビラの配布は行わないでください。
- ・説明会中の写真撮影・録音・録画はお控えください。
- ・本説明会では、質疑応答は行いますが、苦情や陳情の場ではありません。

説明会の円滑な進行に、
ご協力をお願いいたします。

目次

I 枚方市の現状

II 現庁舎の状況、建替えの必要性

III めざすべきまちづくり

IV 枚方市駅周辺再整備基本計画 枚方市新庁舎整備基本構想

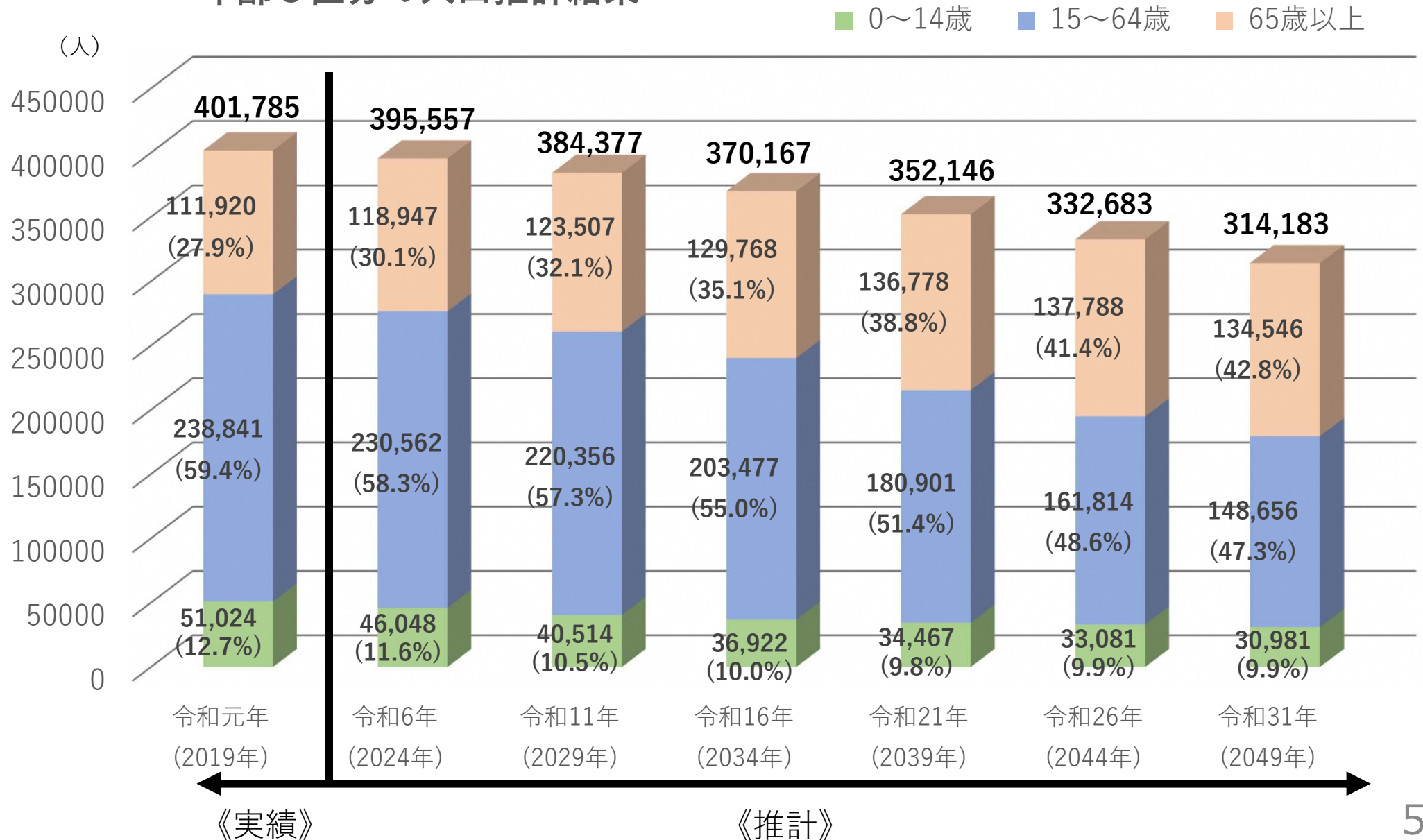
V 質疑応答



I.枚方市の現状

定住人口の減少(少子高齢化)

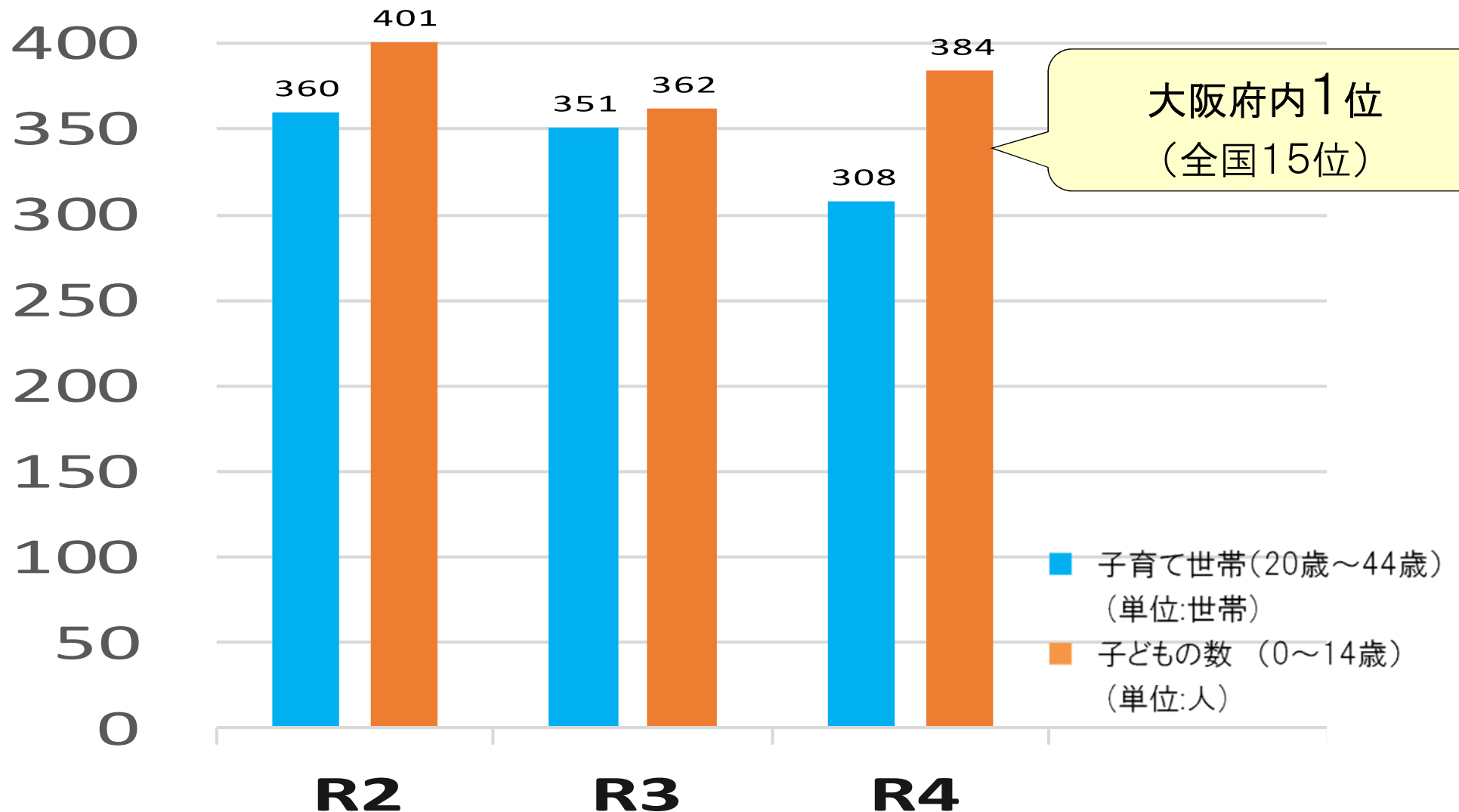
年齢3区分の人口推計結果



人口動態

現状

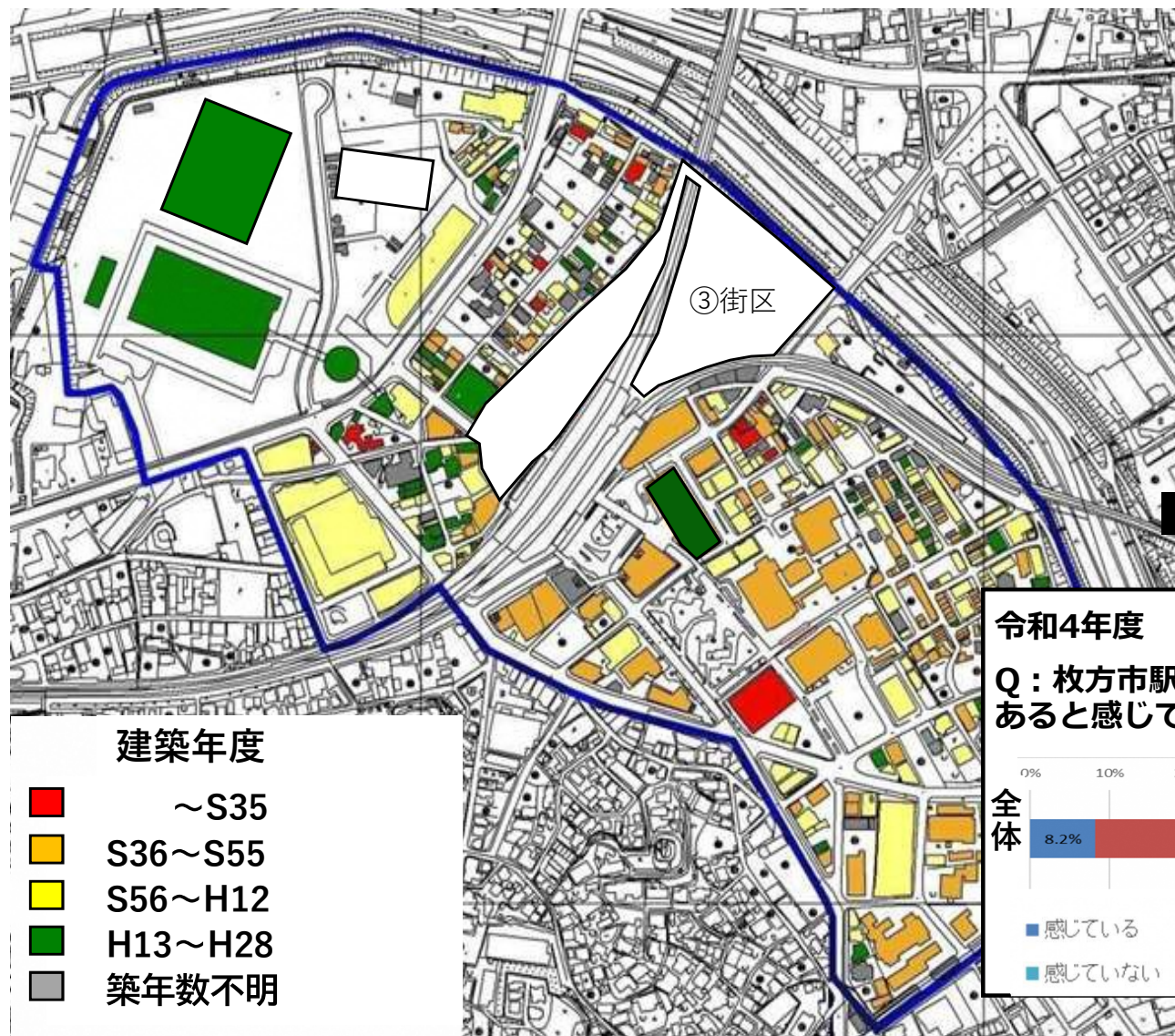
子育て世帯・子どもの転入超過



転入超過の状況

中心市街地の 建築物の老朽化と賑わいの低下

■ 建築物の老朽化

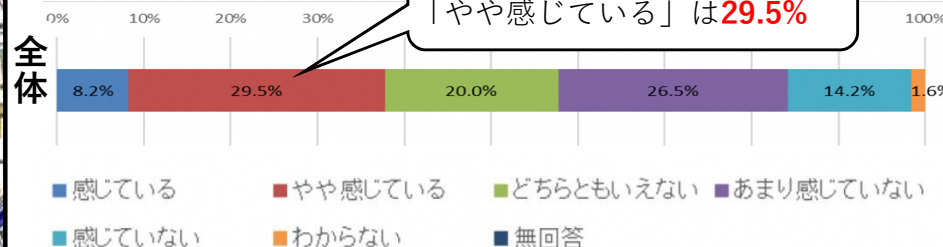


■ 賑わいの低下

令和4年度 枚方市市民意識調査

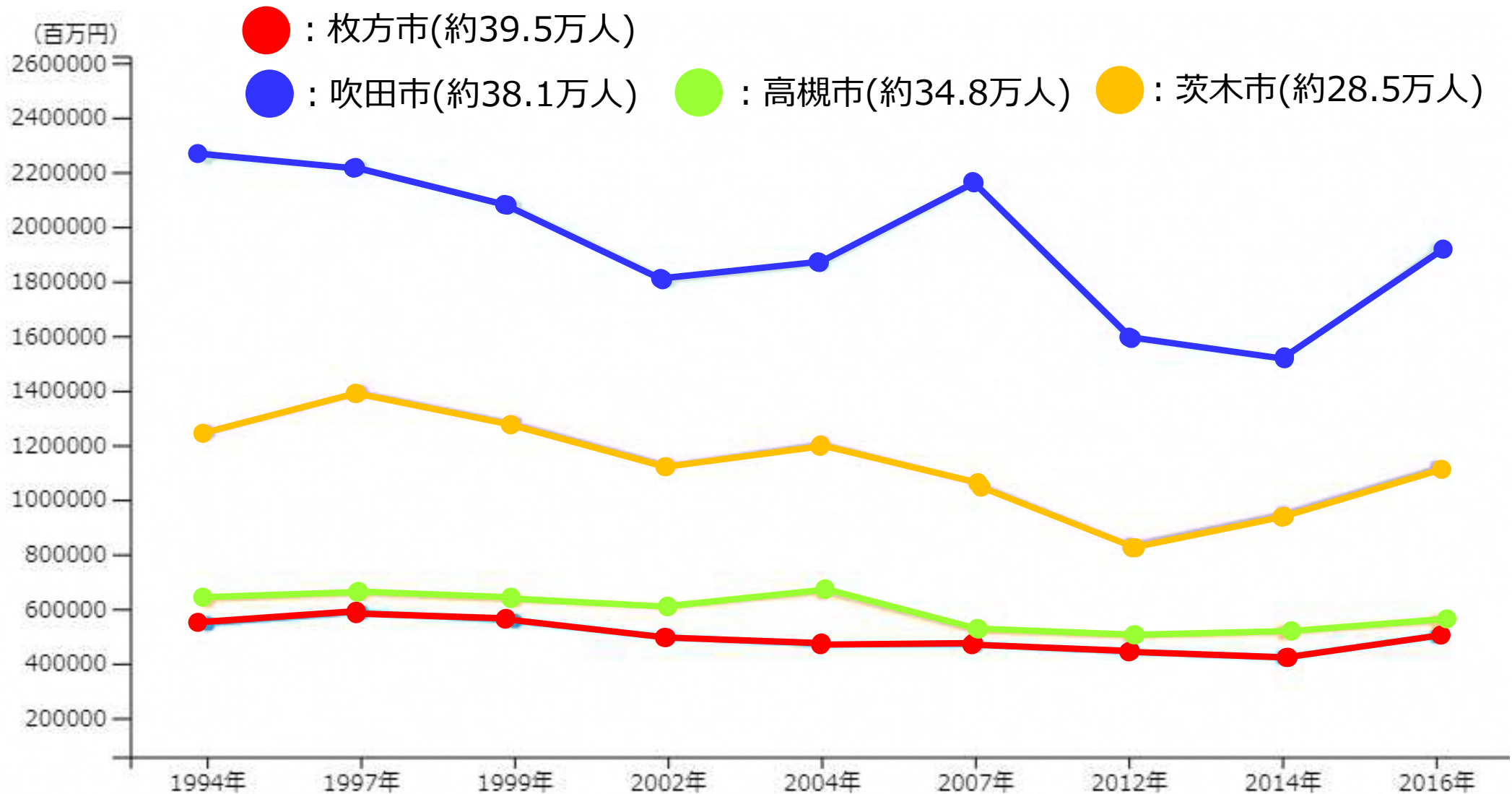
Q：枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地であると感じていますか。

全世代の「感じている」8.2%
「やや感じている」は29.5%



活力の停滞・低下

■年間商品販売額



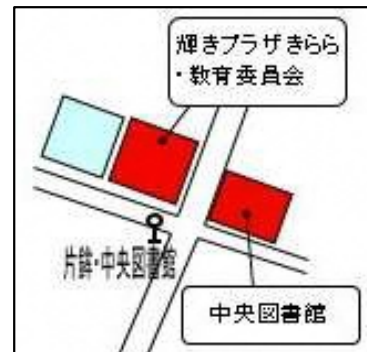
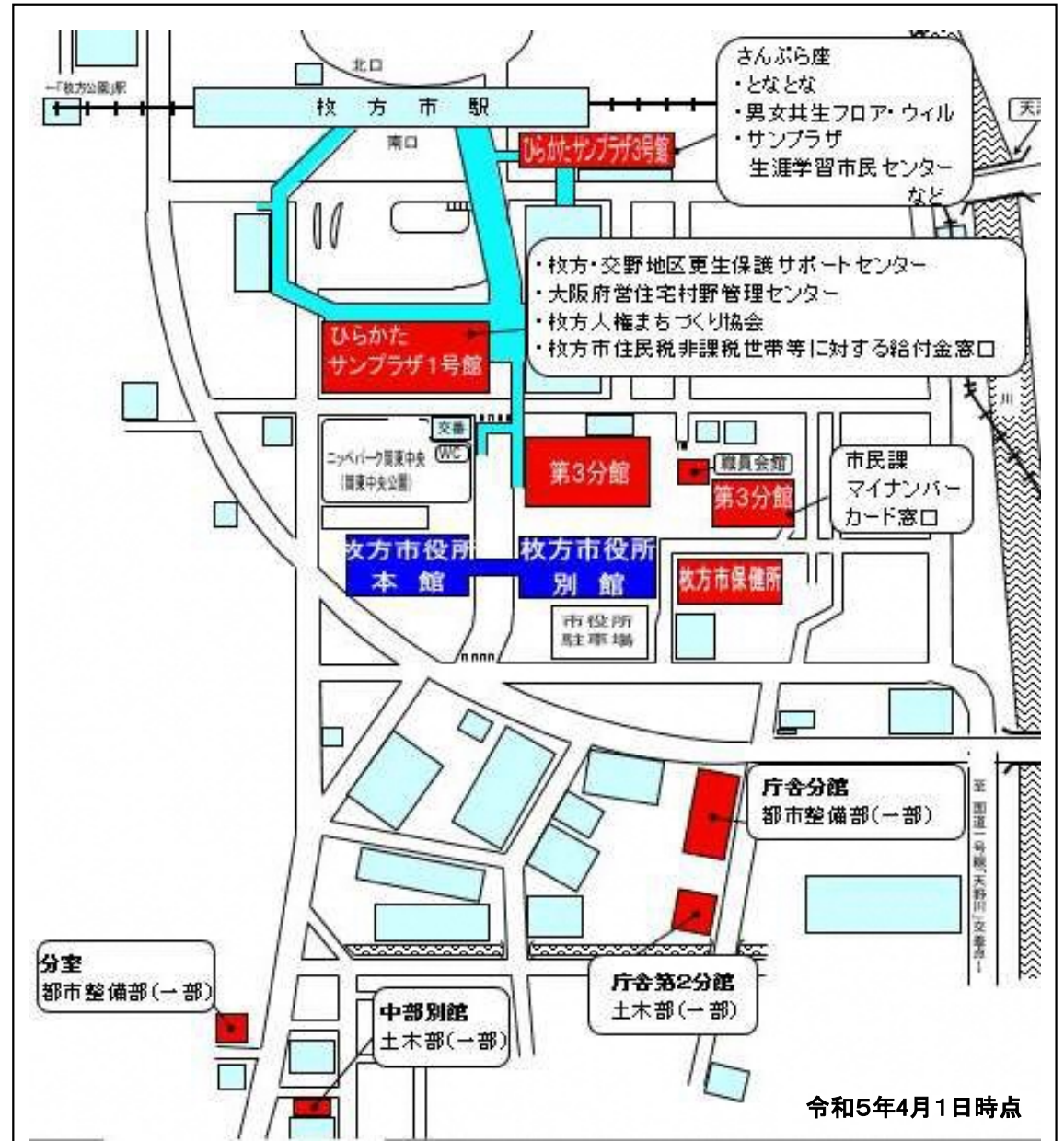


Ⅱ. 現庁舎の状況、建替えの必要性

庁舎の分散化、老朽化の状況

築63年経過

1960年 (昭和35年)	庁舎 (現本館) を新築
1969年 (昭和44年)	別館を新築
1971年 (昭和46年)	庁舎別館を増築 (3~4階)
〃	職員会館を新築
1974年 (昭和49年)	庁舎別館を増築 (5~6階)
1988年 (昭和63年)	庁舎分館を新築
1990年 (平成2年)	土木部中部別館を新築
〃	枚方市役所分室を新築
2005年 (平成17年)	輝きプラザきらら (旧大学施設) を開館
2006年 (平成18年)	本館を耐震改修工事
2008年 (平成20年)	別館を耐震改修工事
2014年 (平成26年)	中核市移行に伴い 保健所の開館
〃	第2分館 (旧ハローワーク) の開館



狭隘化の状況、耐震性



【相談窓口】
通路と待合スペースと
相談カウンターが密接



【来庁者駐車場】
入庫待ち車列の状況



EVホールを
待合として利用

耐震性

現状
(耐震改修後)

大地震により部分的に損傷するが、建物は倒壊しないことを目標とし、**人命の安全確保**が図られている。

国の重要な官庁施設の基準※は通常の基準から1.5倍の耐震性。
大規模災害時における**防災拠点としての機能面で課題**。

(※官庁施設の総合耐震・対津波計画基準)



Ⅲ. めざすべきまちづくり



枚方市がめざしているまち

■ 第5次枚方市総合計画

《めざすまちの姿》

持続的に発展し、一人ひとりが輝くまち 枚方

〔重点的に進める施策〕

- ① 市民、市民団体、事業者、行政が連携し、支えあうまちをつくる
- ② 安心して子どもを産み育て、健やかな成長と学びを支えるまちをつくる
- ③ 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる
- ④ **人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる**
 - **広域中心拠点である枚方市駅周辺の再整備**
 - 市内の移動の円滑化
 - 市内産業の活性化

枚方市駅周辺でめざしているまち

■ 枚方市駅周辺のまちの将来像

○ 再発進 ひらかた

人が主役の「ゆとり」と「賑わい」のまちへ

《まちづくりの方向性》

- 多様なニーズに応え、様々な人が活躍でき、居心地よく過ごすことができる
人が主役の市駅周辺まちづくりを実現

〔ゆとりと賑わいづくりに向けて〕

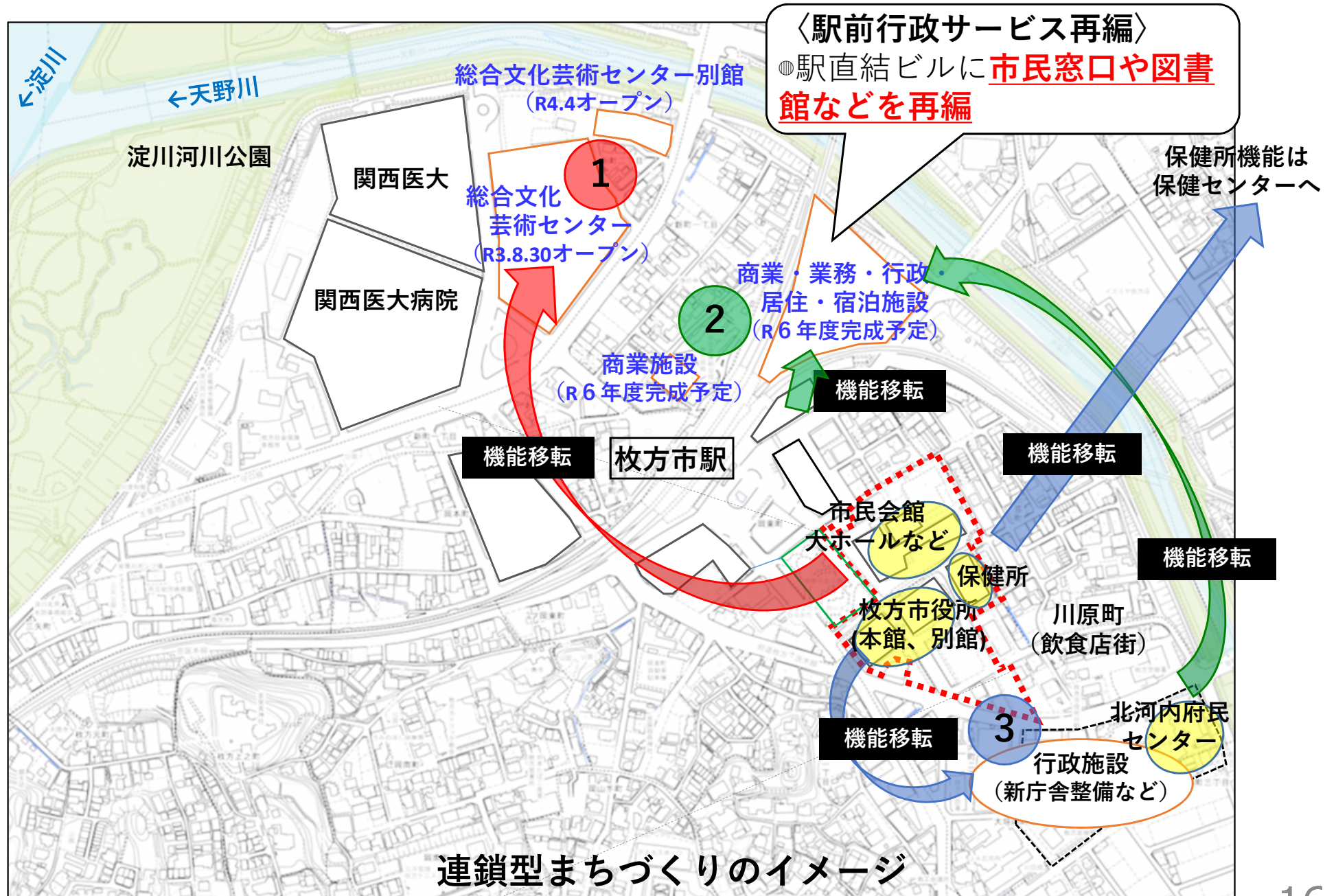
- **ゆとり** ⇨ **安心**：安全に生活できる街（防災、防犯）
⇨ **快適**：居心地が良い、楽しく過ごせる街（都市環境、バリアフリー）
- **賑わい** ⇨ **魅力**：訪れたい、働きたい、学びたい、住みたい街（都市機能更新、ストック活用）

枚方市駅周辺でめざしているまち



(図)新たなまちづくりのイメージ

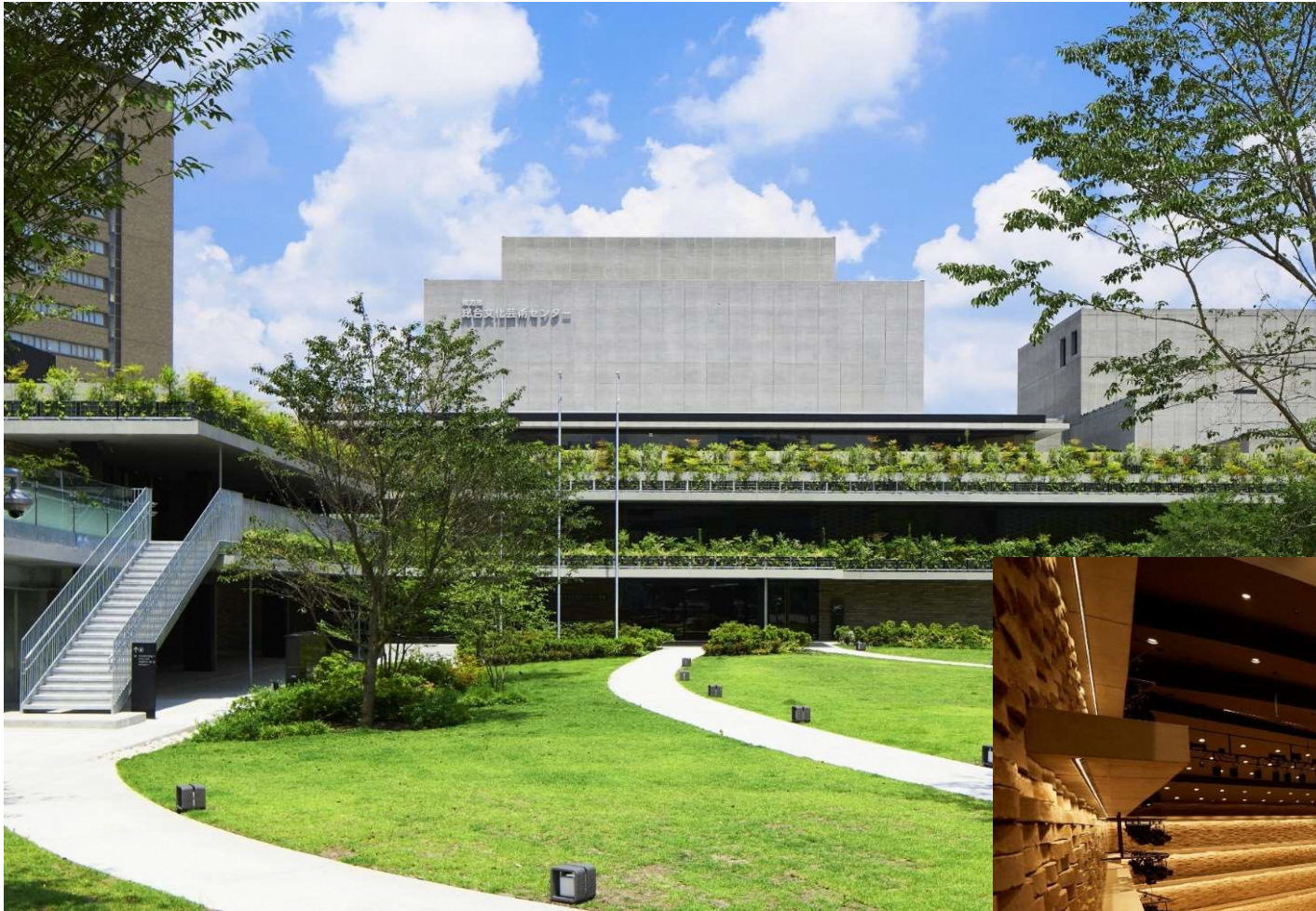
連鎖型まちづくり



枚方市駅周辺再整備の状況

枚方市総合文化芸術センター

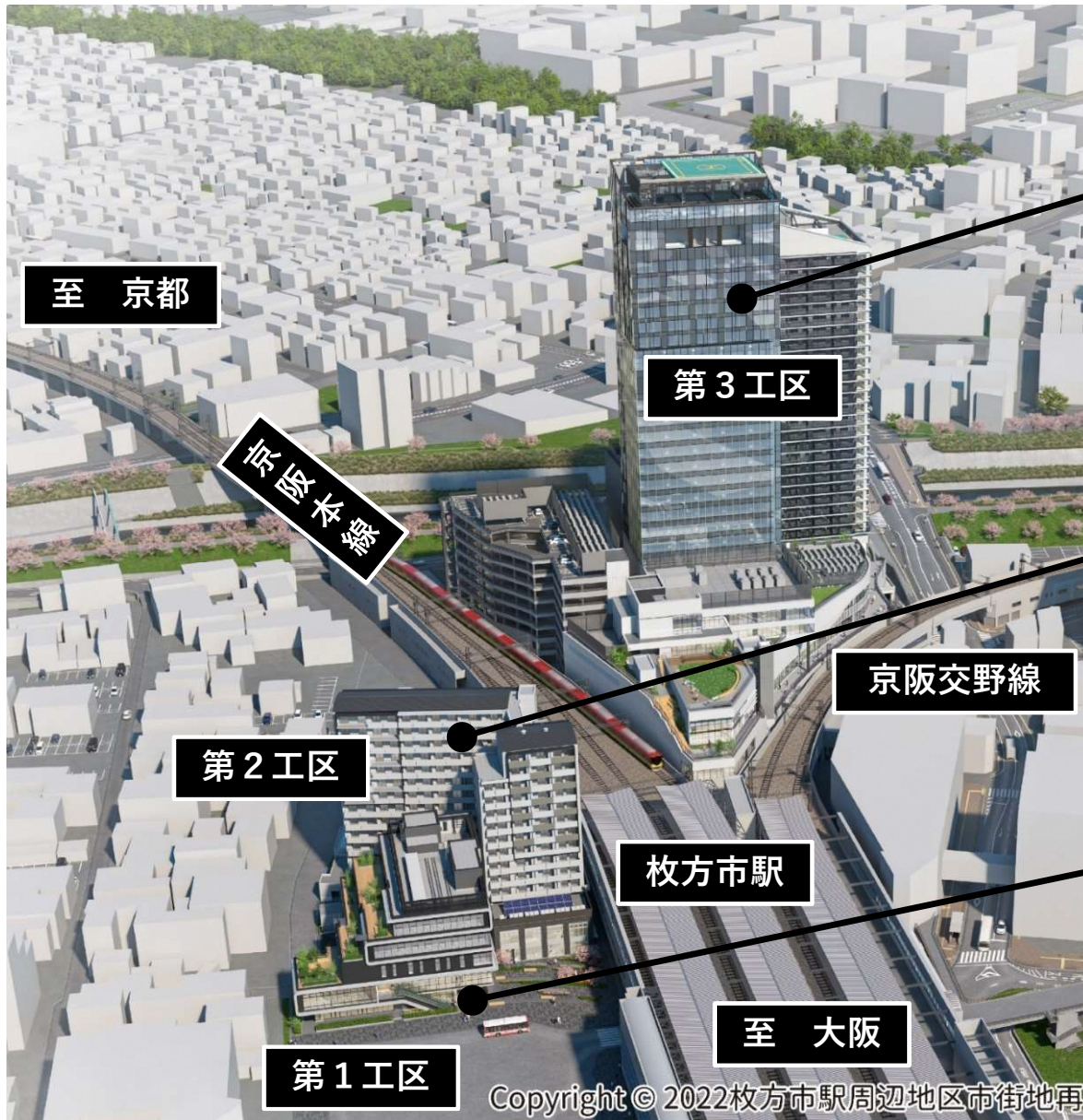
令和3（2021）年8月オープン



枚方市駅周辺再整備の状況

③街区 枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業 完成イメージ

令和6年度 複合施設など完成予定



第3工区	
延床面積	約96,500 m ²
構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造
階数	地上29階
建物高さ	約116 m
主用途	店舗、事務所、ホテル、住宅、駐車場、行政

第2工区	
延床面積	約8,900 m ²
構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造
階数	地上14階
建物高さ	約44 m
主用途	住宅・店舗・駐車場

第1工区	
延床面積	約5,820 m ²
構造	鉄骨造
階数	地上5階、地下1階
建物高さ	約27 m
主用途	店舗

④⑤街区の土地利用 イメージ図

Ⅲ.めざすべき
まちづくり (7)

～みどりの大空間と調和した新たなまちの魅力創出～



【回遊性向上・賑わいを促進する 歩行者デッキ】

駅と市役所及び民間施設を直接
つなぎ回遊性を向上・賑わいづ
くりを促進



例：南町田駅前
「グランベリーモール」
駅から歩行者デッキがつながり、商業施設や公園を連絡

【賑わいや 市民の活動拠点となる施設】

公園・広場に面して、エリアマネジメントの
拠点や市民交流の場となる施設

【まちの魅力を高める複合施設】

以下の各施設を集積した生活サポート拠点
・子育て支援や教育、医療等の利便性と快適性の向上に繋がる施設
・体験型の文化芸術や公園・広場と連携した健康増進(フィットネス等)
等を通じて多様な交流や賑わいを促進する施設
・多様な働き方が可能なシェアオフィスやインキュベーション施設
・多様なニーズに対応した質の高い都市型居住施設
など

【周辺地区への波及】

川原町、天野川、宮之阪方面等へ
の回遊性の向上や交流の促進

【新たな道路】

駅への通過交通の抑制と
駅周辺の土地利用を促進

【シンボリックな景観軸】

- ・ウォークアブル機能の中心として、
まちの魅力を高めるシンボリックな
みどりの大空間
- ・店舗の設置やイベントの開催など
公民連携により、歩きたくなる空間
を形成
- ・防災機能を有した空間

【賑わい広場】

市民発表等のイベント
ができる屋根付きス
テージと広場、大階段
が一体となった賑わい
空間



例：長野市「セントラルスクエア」
芝生広場と屋根付きステージによるまちなか広場

【芝生広場】

広場と店舗(低層沿道サー
ビス施設)が一体となっ
て歩いて楽しい・歩きたく
なる空間、子どもが自由に遊
べる空間



例：豊島区東池袋
「イケ・サンパーク」
芝生広場横に並ぶコンテナ
型キッチンカーと子供が自
由に遊べる空間



【憩いと安らぎの広場】

ベンチ等の
休憩機能と
みどり豊かな
ゆとり空間



例：静岡市「駿府城公園」
木漏れ日の中で静かに過ごせる空間

【新しい市役所本庁舎】

利便性や防災性を高め、
フリンジパーキングとな
る駐車場等と一体化した
安全・安心の拠点



例：千曲市役所

- ・国(枚方税務署)との
合同庁舎化の検討
- ・回遊性の向上等まちの
魅力や庁舎機能をさらに
高める機能(施設)に
ついて検討

本資料は、枚方市が目指すまちのイメージを示すも
のであり、今後、権利者等関係者の意見を聴きなが
ら取り組みを進めて行きます
※②街区の一部を含む

新庁舎の位置の検討

項目	⑤街区庁舎案(税務署との合築)	④街区庁舎案	
<p>土地利用図案</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 庁舎等用地 道路 公園・広場 市有地の売却地 市有地以外 			
<p>賑わい 回遊性 波及効果</p>	<p>(1)より広範囲の賑わい創出や回遊性の向上 (2)まちの魅力を高める施設の導入 ●まとまった規模の敷地確保ができ、 一定の条件設定も可能 (3)枚方市全体への波及効果が高い</p>	<p>(1)賑わい創出や回遊性が限定的 (2)まちの魅力を高める施設の導入 ○ ●点在する小さな敷地のみとなり、限定的 (3)枚方市全体への波及効果が低い ※ の土地利用が不明確</p>	<p>△</p>
<p>市負担額</p>	<p>財源確保策により市負担額の軽減が図れる</p>	<p>○ 左記より市負担額が多い</p>	<p>△</p>
<p>新庁舎への アクセス性 (市民による行政 手続きの利便性)</p>	<p>(1)新庁舎の位置については、 枚方市駅から現状より約200m遠い(約500m)。 宮之阪駅からは約400mとなり近くなる。 (2)③街区市民窓口では、ICT技術等により主要な複数の手続きや相談ができる窓口を設置。 引き続き、電子申請や支所などの地域拠点の拡充に取り組む。</p>	<p>(1)枚方市駅から約150mとなり、現状より約110m近くなる。 (2)左に同じ ※左に同じ。</p>	<p>—</p>

※その他、「活用できる公園・広場の範囲」や「定住人口の促進」「合築による新庁舎の効率化」「広域緊急交通路に面することなどによる防災・減災」などについては、⑤街区庁舎案の方が有効と考える。

枚方市駅周辺再整備の波及効果

■市駅周辺再整備の効果

●枚方市内の経済効果

約**1,400**億円/年
(約**4,200**億円/10年)

オリックス優勝
(プロ野球2021パ・リーグ)
経済効果：約209億円(関西)

WBC2023優勝
経済効果：約650億円

長期的な社会動態の転入増加
枚方市全体の活性化

- ・健康寿命の延伸
- ・満足度の向上

●新たな雇用の創出

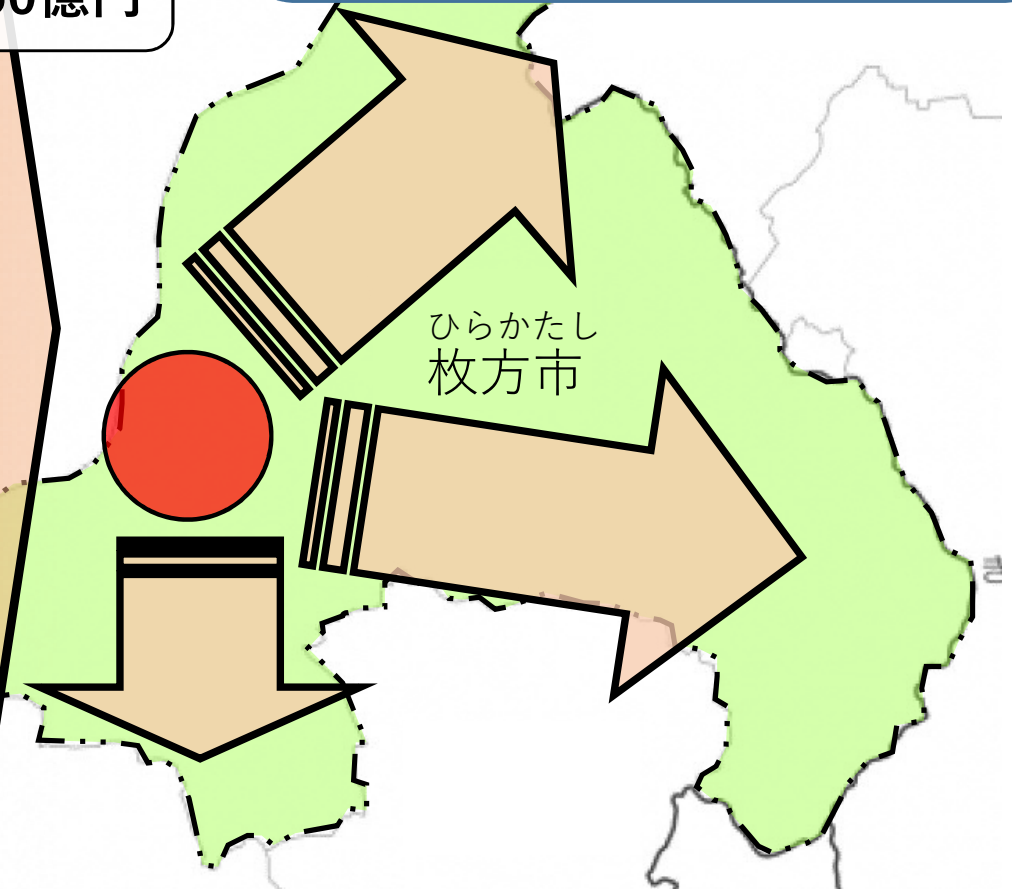
約**12,000**人増/年
(約**39,000**人増/10年)

●自主財源(税収)の増加

約**40**億/20年間

など

市全域に波及



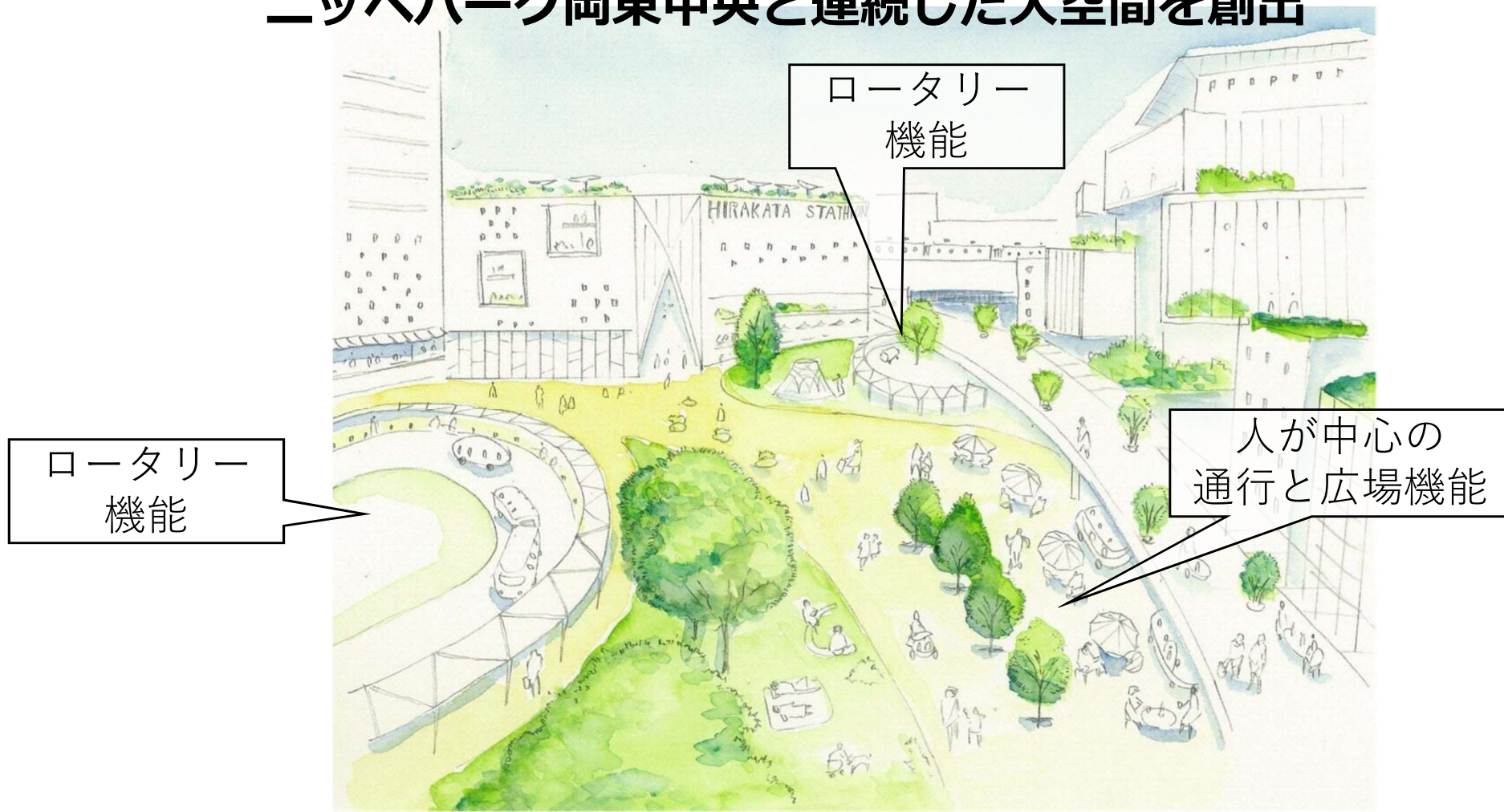
施策1) みどりの大空間の創出、公園・広場の活用推進

施策2) 交通動線の整理

《目的》 駅前広場を再整備、通過交通を抑制し人が中心の空間を創出

⇒ 公共交通の利便性を向上

⇒ 人が中心となる通行・広場空間を確保
ニッペパーク岡東中央と連続した大空間を創出



施策1) みどりの大空間の創出、公園・広場の活用推進

《目的》 多目的に使える公共スペースを拡大・活用

- ⇒ 多様な人々が交流できる場を整備して、まちの魅力を向上
- ⇒ まちなかに安全な避難場所となる空間を確保・防災性を向上



施策3) まちなか居住の推進 施策4) ウォーカブルの推進

《目的》 多様なニーズに応じた質の高い都市型居住施設を誘導

⇒ 子育て支援や教育、医療等の施設立地を促し、活力を向上

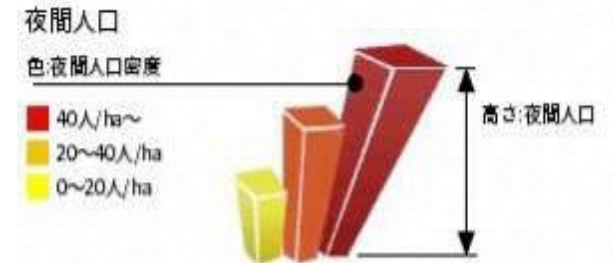
《目的》 誰もが歩いて楽しめる居心地の良いまちづくりを推進

⇒ まちの回遊性を高めて来訪者数を増やし、まちを活性化



まちの魅力を高める複合施設
みどりの大空間と連携し、まちに魅力
を高める民間活力を導入

みどりの大空間 (賑わい・憩い・安らぎ広場など)
多様な交流や市民利用ができる公園・広場



【夜間人口分布】
メッシュサイズ: 500m
枚方市駅周辺のうち特に駅周辺地域は、
周辺と比べると夜間人口(2,037人)が
少ない。

施策5) エリアマネジメント体制の構築

Ⅲ.めざすべき
まちづくり(13)

~住民・事業者・地権者などによる地域の魅力向上~

《目的》 公民連携の下、持続可能なまちの魅力向上に取り組む体制を構築

⇒ まちの賑わいづくりを促進

- 公園や街角等を活用した各種イベントの開催
- エリア全体での情報発信による来訪者の増加、滞在時間の延長

⇒ 良好な都市景観の形成を誘導

- まちなかの景観のルールづくり、清掃活動など

⇒ 移動の利便性を向上

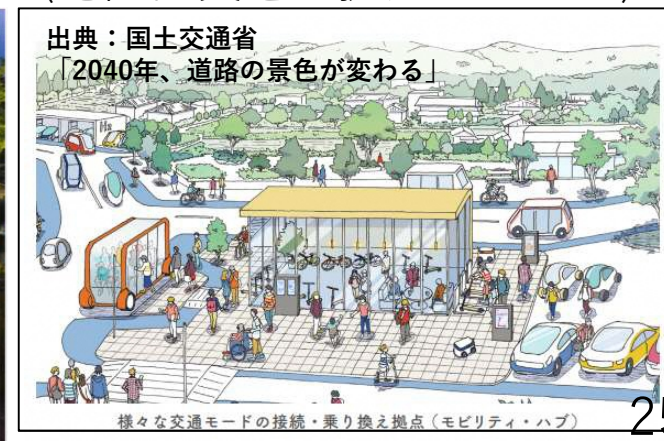
- 新たな交通手段の確保、駐車場システムの整備など

➔ これらの取組みを通じて安定財源を確保（イベント、駐車場運営など）

〈まちの賑わいづくりと良好な都市景観形成〉



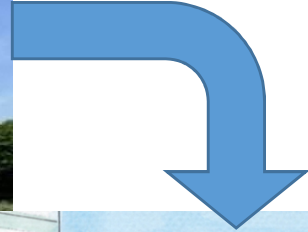
〈地区内交通の拠点イメージ〉



施策6) 天野川の景観改善

《目的》 天野川の景観を改善し、地域資源としての魅力を向上

⇒ 淀川から天野川、⑤街区を繋ぎ、まちの回遊性を強化



《景観整備》



施策7) 枚方宿、淀川との連携強化

《目的》 主要な地域資源である枚方宿や淀川へのアクセスを強化

⇒市駅周辺の一部として連携を強化し、まちの魅力を向上



五六市

第1回LOHASパーク枚方



An architectural sketch of a city. On the left, a tall, curved building with multiple levels of green terraces. In the center, a smaller building with a sign that says 'HEALTHY CITY'. To the right, a park area with a path, trees, and people walking. A sign in the foreground says 'SITE PLAN' and 'DRINK'.

IV. 枚方市駅周辺再整備基本計画 枚方市新庁舎整備基本構想

これまでのまちづくりの主な経過

- 平成16年(2004年)11月 枚方市駅周辺再整備基本構想 策定
- 平成25年(2013年)3月 枚方市駅周辺再整備ビジョン 策定
- 令和2年(2020年)3月 ③街区 枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業
組合設立認可
- 令和3年(2021年)3月 枚方市駅周辺再整備基本計画 策定
- 新庁舎整備基本構想 策定
- 令和3年(2021年)8月 枚方市総合文化芸術センター オープン
- 令和4年(2022年)9月 市役所の位置に関する条例の一部改正 否決
(※賛成18・反対12 : 3分の2以上の賛成が必要)
- 令和5年(2023年)5月 枚方市駅周辺再整備シンポジウム 開催
- 令和5年(2023年)6月 枚方市駅周辺再整備基本計画 改訂
※素案に対するパブリックコメント 3月31日~4月19日

枚方市駅周辺再整備基本計画（1）

計画策定の目的と対象区域

- 枚方市駅周辺再整備ビジョンに基づき、本市の中心市街地として魅力にあふれ賑わいのあるまちを具体的に構築するため、重点的に進める右の区域（約13ha）を設定。
- まちづくりの方向性や土地利用のイメージ、実現化に向けた方策などを示した枚方市駅周辺再整備基本計画を策定。

地域の特性

- ◎市の広域中心拠点
 - 行政・商業・業務・医療・文化交流機能が集積
- ◎大阪、京都への良好なアクセス
 - 特急停車駅、市内・周辺都市を結ぶバス発着拠点
- ◎賑わい・交流拠点
 - 京街道枚方宿の歴史資源、淀川、天野川の自然環境、ニッペパーク岡東中央を活用
- ◎都市再生緊急整備地域に指定
 - 民間事業者などが行う都市開発事業に対する様々な支援策や規制緩和等が可能



枚方市駅周辺再整備基本計画（2）

課題整理

- ◎ 社会環境の変化や多様化する市民ニーズに対応した機能の充実
- ◎ 駅利用者や駅前などの中心部の人々の行動範囲を広げ、ゆとりや賑わいを創出
- ◎ 誰もがいきがいを創れるまちづくりの推進
- ◎ 市駅前広場における交通機能の強化と安全対策
- ◎ 広域中心拠点として必要な都市機能の充実、大規模災害に備えた防災・減災力の向上
- ◎ 公共施設を含めた老朽化建築物の更新（耐震化の促進）
- ◎ 地域資源である淀川や京街道などの活用や大学との連携による魅力づくり・情報発信
- ◎ 環境負荷の低減、快適な都市環境形成の取組の推進 など

実現するまちに向けて

【目指すまちの将来像】「再発進 ひらかた 人が主役のゆとりと賑わいのまち」
サブテーマ：全ての世代が様々なライフスタイルを実現し、交流できるまち

5つのまちづくりの考え方

<p>(1) 魅力的なモノ・コト・ヒトに 出会うウォーカブルなまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「職・学・住・楽」近接の多様なライフスタイルの実現 ■ 都市機能や地域資源の最大限活用 ■ 居心地が良く滞在できる空間や歩いて楽しいウォーカブルなまちづくりの形成 ■ 特色のある地域ならではの景観形成
<p>(2) 魅力や価値を持続的に育むまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ エリアマネジメントによる活性化の促進 ■ シビックプライドの醸成
<p>(3) 災害に強くしなやかで 安全・安心に過ごせるまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大規模災害を見据えた強い都市の形成 ■ 安全・安心な交通環境の充実
<p>(4) 未来都市の実現にむけて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ICT、IoT、AI など新たな先進的技術の導入
<p>(5) 人や環境にやさしいまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地球環境への負荷の低減

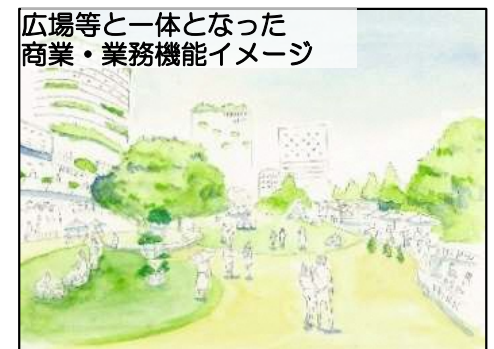
枚方市駅周辺再整備基本計画（3）

土地利用の方向性

【基本的な考え方】

- ◎土地の高度利用を図るとともにゆとり空間や賑わいと地域活力の創出などメリハリのある土地利用
- ◎地域資源や新たな都市機能などを有機的につなぎ、回遊性の向上や賑わい創出、定住促進を図る土地利用
- ◎老朽化施設の更新と必要に応じた集約などによる効率的な土地利用

実現するまちに向けて



(図)新たなまちづくりのイメージ



枚方市新庁舎整備基本構想

■新庁舎整備の考え方

1) 国との合同庁舎整備の検討

- ・平成26年より国・府・市で連絡会議を立ち上げ、国・府・市有財産の最適利用や効率的なまちづくりを検討

2) 庁舎の位置

- ・⑤街区に配置

3) 庁舎機能を集約する考え方

- ・分散している庁舎機能を集約

4) 枚方市駅前行政サービス再編の取り組み

- ・市駅前に図書館や相談窓口などを再編

5) 既存施設の活用

- ・輝きプラザきららなどの既存施設を活用

【枚方市駅周辺再整備基本計画 街区図】



5つの基本方針

基本方針1 安全・安心なくらしを支える庁舎

基本方針2 誰にでも親しまれる庁舎

基本方針3 まちづくりに寄与する庁舎

基本方針4 環境に優しい庁舎

基本方針5 効率的で機能性に優れた庁舎

■新庁舎に導入する機能

主要機能

防災機能

○災害対策本部室、防災行政無線統制室、屋外広場等

窓口機能

○総合窓口、窓口空間（手続き・相談）、待合いスペース等

議会機能

○議場、傍聴席、委員会室、議員控室、図書室等

執務機能

○執務室、会議室、書庫、倉庫、福利厚生室等

付加機能

交流機能

○多目的スペース、市政情報コーナー、市民交流スペース等

環境機能

○自然エネルギー、省エネルギー設備、緑化等

附帯機能

○銀行ATM、コンビニエンスストア、飲食スペース等 ※

※現時点での例示

共用機能

共通機能

○ユニバーサルデザイン、ロビー、トイレ、案内表示等

交通機能

○駐車場（来庁者・公用車）、駐輪場、安全な歩行空間等

特有機能

○シンボル性、回遊性、賑わい、景観等

■新庁舎整備基本計画策定の考え方（案）

新庁舎の規模（基本構想）

現状規模
約28,196㎡



想定規模
約25,000㎡以下

関係部署と連携した**更なる縮減の考え方**

1. 執務面積

ファイリングシステム※（FS）導入（検証STEP）

- ・ FS導入前後の各部署面積を検証



- ・ 各部署実績の削減効果を基に執務面積を算出

※収納効率に優れた用具を用いること等により、執務室における保管文書の占める床面積を削減することができる文書管理の手法

2. DXの推進

情報化推進本部会議（DX推進PT）の検討結果や今後の技術革新を踏まえた検討



- ・ フリーアドレス
- ・ テレワーク
- ・ ワンストップ窓口
- ・ オンライン手続き 等の導入

3. 機能の共用化

- ・ 合同庁舎化による多目的スペース、駐車場等の共用
- ・ 平常時は災対本部室を会議室として共用

4. 既存施設の活用

公共施設マネジメント推進委員会と連携し検討結果を反映

- ・ 庁舎のあり方検討
- ・ 輝きプラザきららなどの活用 約2,000㎡

5. 枚方市駅前行政サービスの再編

令和6年度に開設予定の庁舎分室（（仮称）市民窓口等）、保健センターの一部機能などでサービスの提供

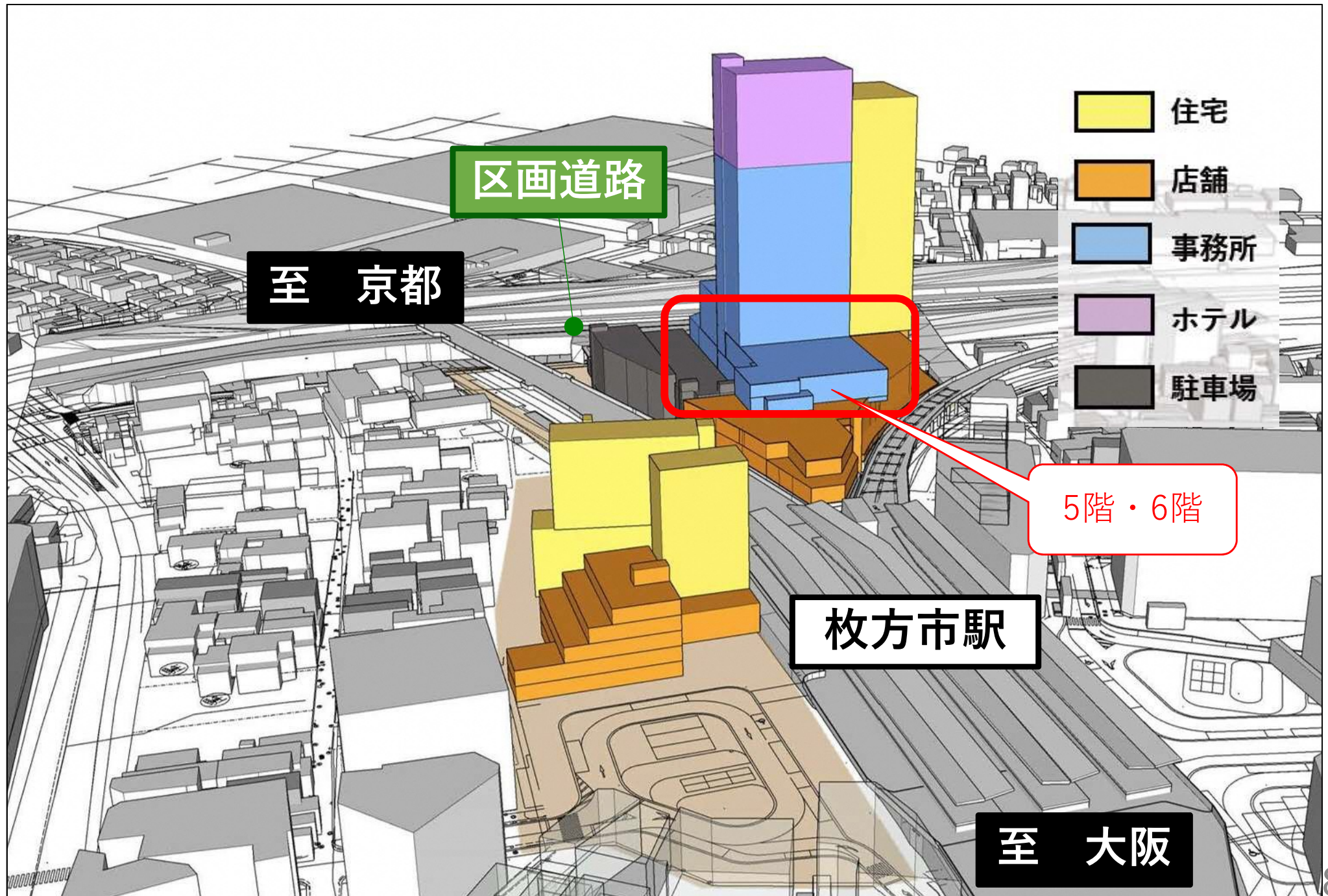


運営状況を検証

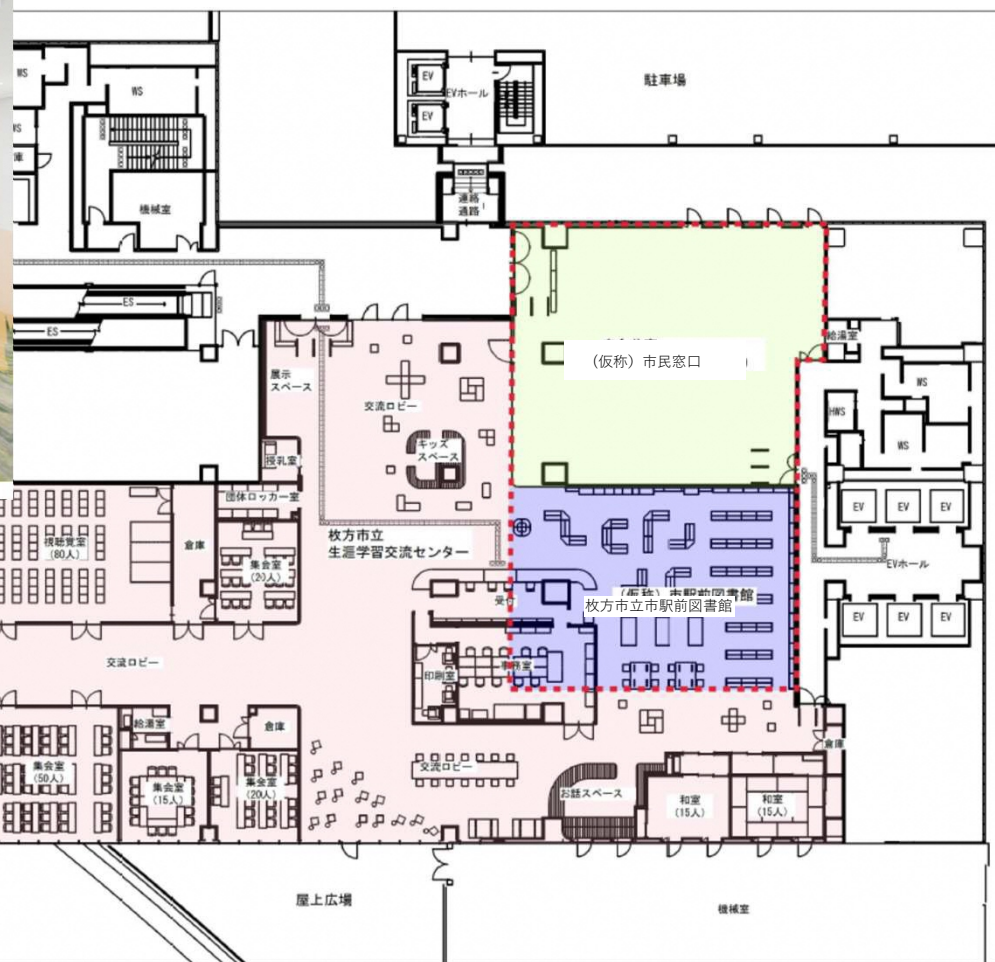
検証結果

「新庁舎整備基本計画」に反映

■枚方市駅前行政サービスの再編



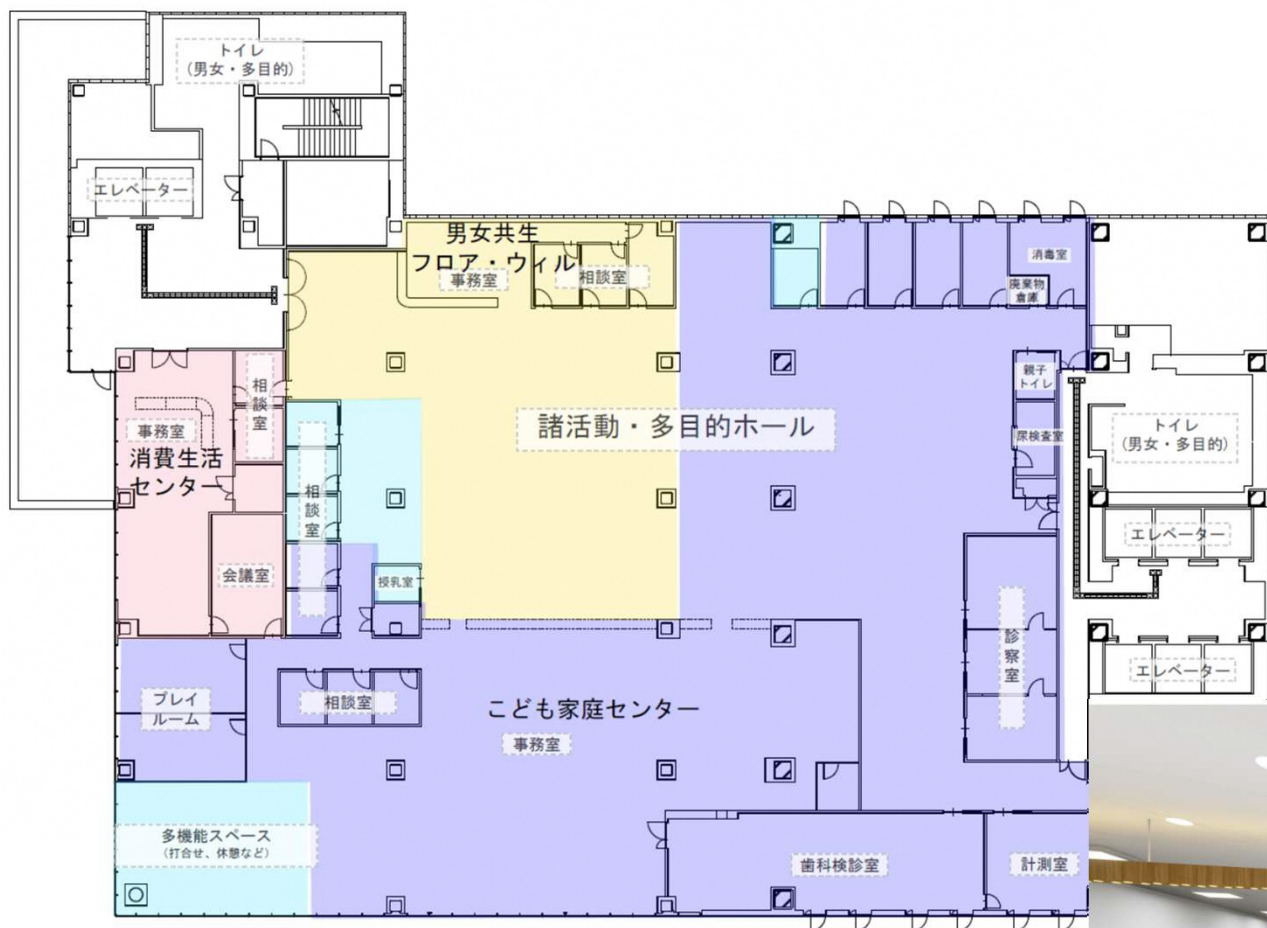
■③街区 枚方市駅前行政サービスの再編 完成イメージ 令和6年度 第3工区複合施設内に完成予定



5階

- ・（仮称）市民窓口
（オンラインによる相談や申請手続きを実施）
- ・枚方市立生涯学習交流センター
- ・枚方市立市駅前図書館

■③街区 枚方市駅前行政サービスの再編 完成イメージ 令和6年度 第3工区複合施設内に完成予定

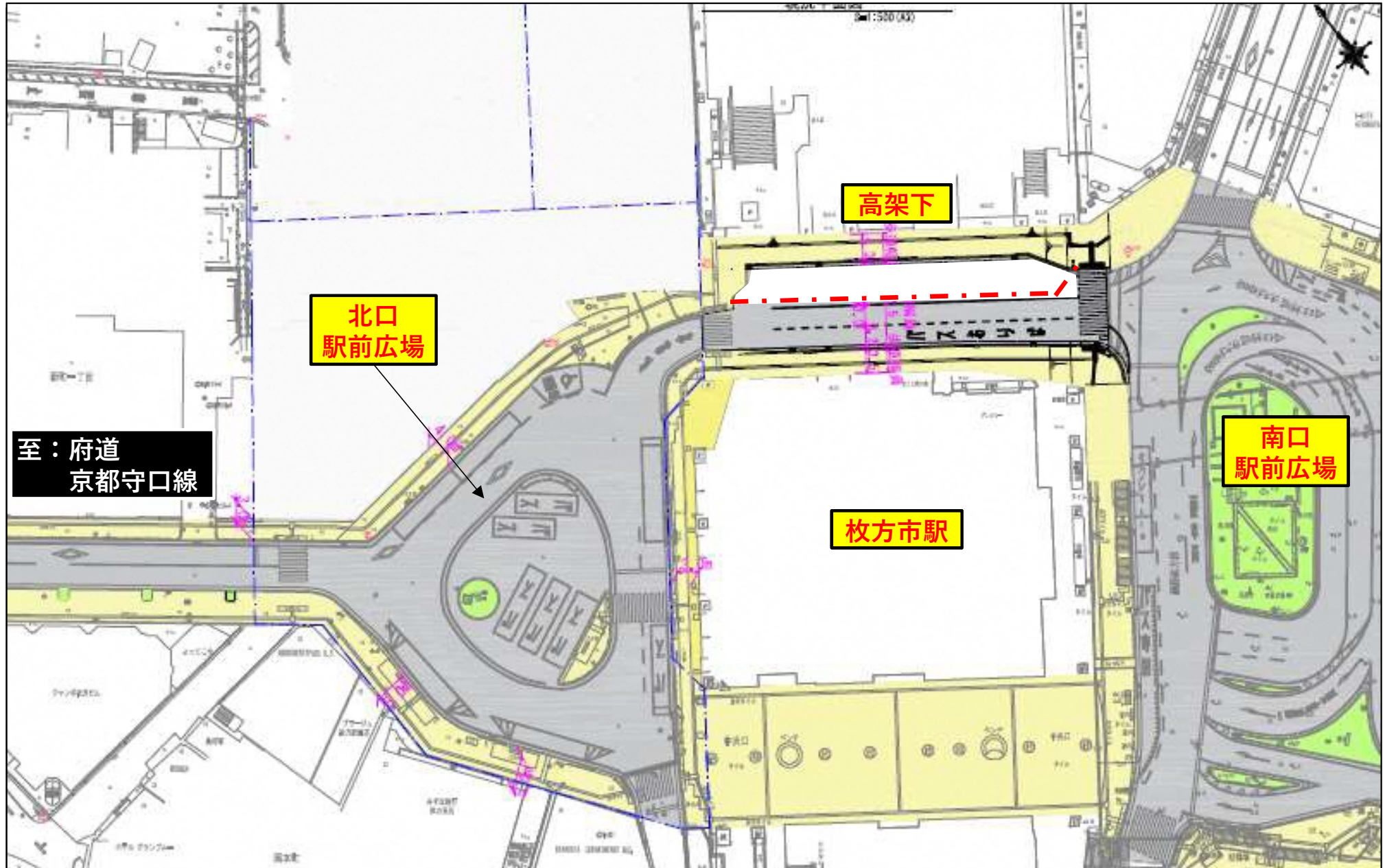


6階

- ・男女共生フロア・ウィル
- ・消費生活センター
- ・こども家庭センター
(現：子ども支援課、子ども相談課、
母子保健課の一部)

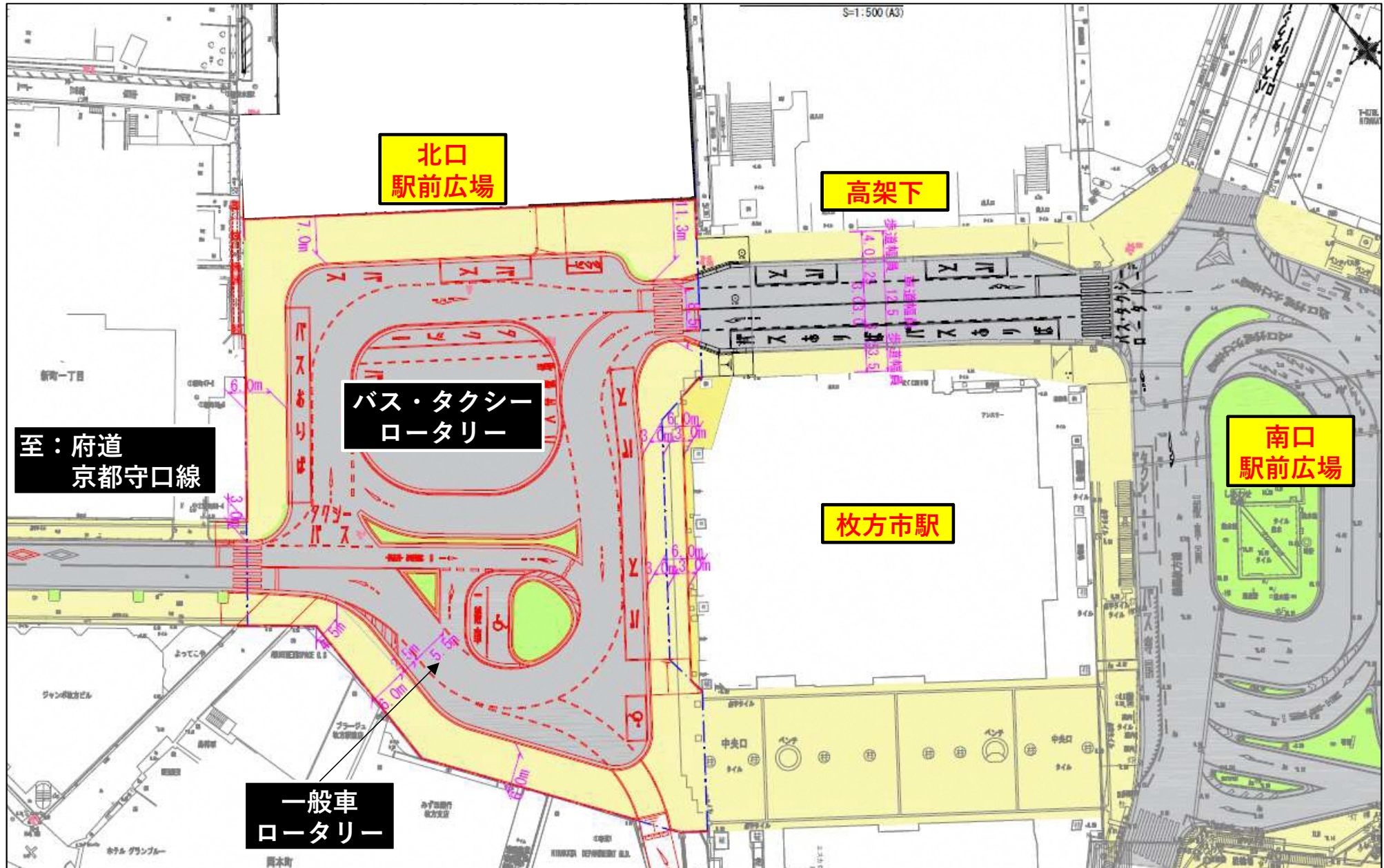


■③街区 枚方市駅北口駅前広場 現況図



■③街区 枚方市駅北口駅前広場 配置計画図（案）

令和6年度に完成予定



段階的な事業のイメージ

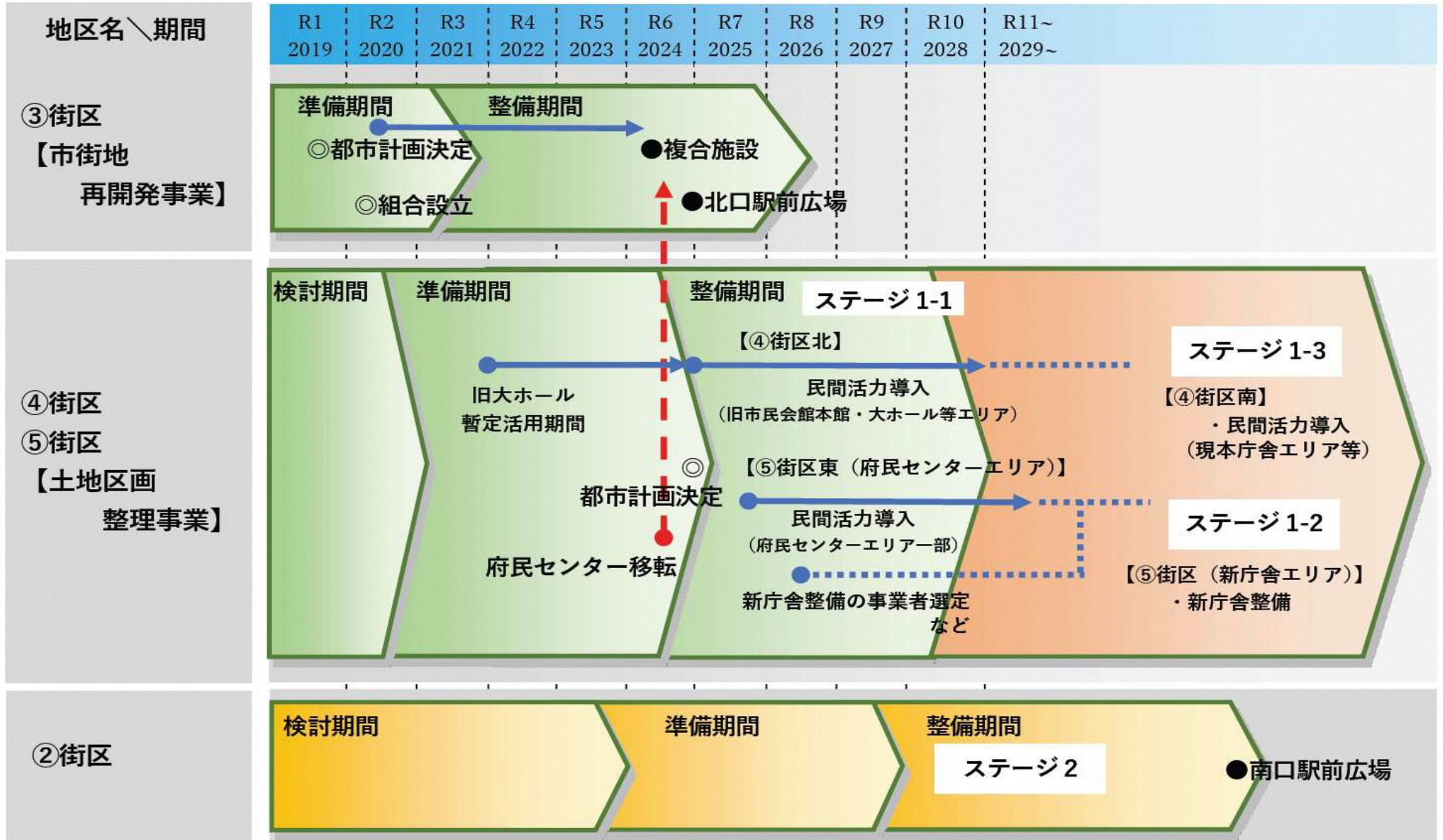


想定スケジュール

実施に向けた想定スケジュール

◎：手続き関係

●→ 民間活力導入エリアの設計・工事関係を示す



総概算事業費と財源

総概算事業費の内訳

(億円)

街 区	事業手法	事業費	市負担額	主な経費
③街区	市街地再開発事業	453	75	○公共施設管理者負担金
②街区 ステージ2	市街地再開発事業	136	50	道路や駅前広場整備に係る費用 ○市街地再開発補助金、土地区画整理補助金
④、⑤街区	土地区画整理事業	318	248	調査設計費、移転補償費、土地整備費などに係る補助金
ステージ 1-1		71	44	○新庁舎整備及び枚方市駅前行政サービスの再編に係る経費
ステージ 1-2~ 1-3		247	204	
合 計		907	373	

(財 源)

基 金 : 約 65 億円

起 債 : 約 157 億円

一般財源 : 約 55 億円

市有財産有効活用: 約 96 億円

※「枚方市駅周辺再整備推進基金」を活用します。

※市有財産有効活用については、一部市有地の売却などを前提にしていますが、本市の財政状況などを踏まえ、定期借地についての検討も行います。

※金額については現時点での目安であり、今後、事業手法や社会経済状況により変動します。

長期財政の見通し（令和5年2月策定）

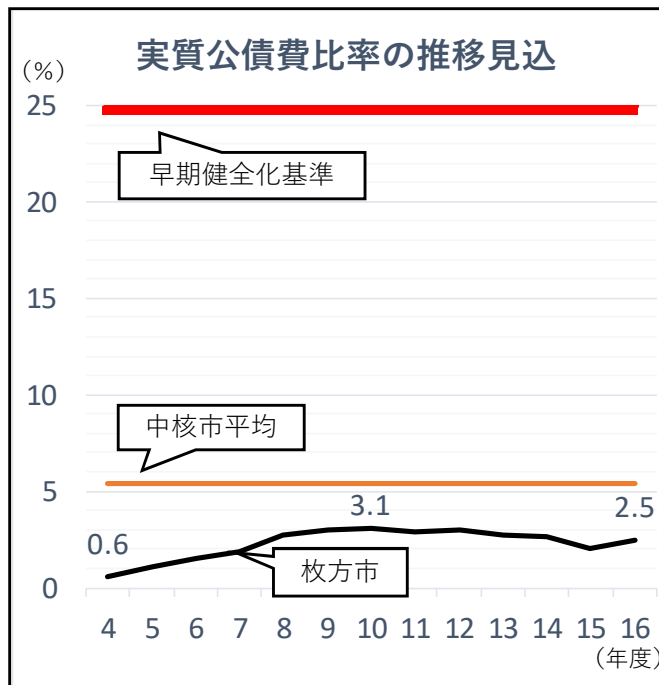
- ・ 実質収支については期間を通じて黒字を維持
- ・ 財政状況を表す財政指標においても健全性を維持

（億円）

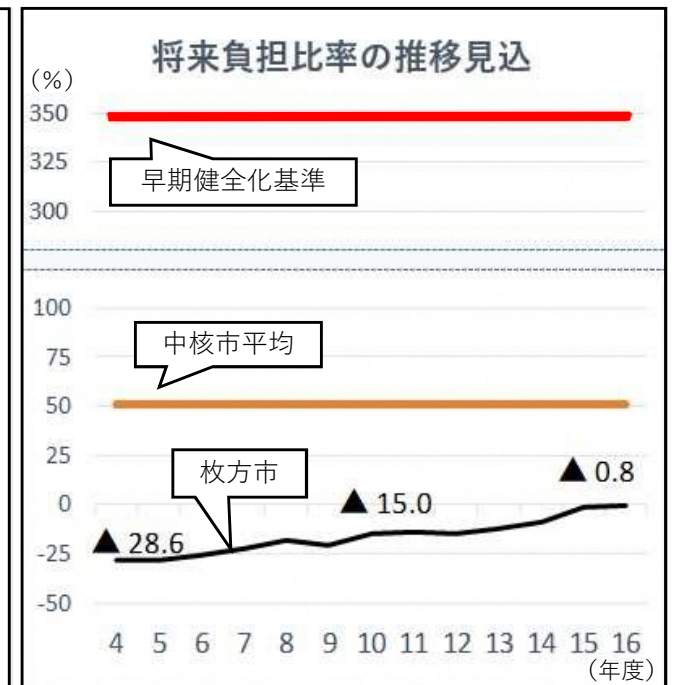
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
実質収支	25	22	22	19	20	19	18	16	18	15	15	14	14	14

財政指標（令和3年度決算）

	実質公債費比率	将来負担比率
枚方市	0.0%	▲25.9%
中核市平均	5.4%	50.9%
早期健全化基準（※）	25%	350%



※毎年の借金返済額の収入に対する割合



※借入金の残高など将来負担すべきもの（市の貯金額等も考慮）の収入に対する割合

※基準値を越えた場合は、財政健全化のための計画を立てて、速やかに実行する必要があります。

説明会や出前講座の実施状況について

	令和4年9月まで	令和4年9月から	合計
出前講座	8回	5回	13回
校区コミュニティ説明会 (資料配布のみ)	- -	7回(その他予定1回あり) (8か所)	7回 (8か所)
基本計画策定説明会	中止のため資料送付		-
基本計画改訂説明会	-	2回	2回
シンポジウム	-	1回	1回

※説明会などの実施回数:23回

<その他>

- 枚方市駅周辺再整備④街区民間活力導入エリアのあり方を考えるワークショップ (令和3年)
- 枚方市駅周辺再整備④街区民間活力導入エリアのあり方に関するアンケート (令和3年)
- 枚方市駅周辺再整備に関するWebアンケート (令和5年)

V. 質疑応答について（進め方）

- ・大変お手数ですが、ご質問のある方は挙手をお願いします。
- ・こちらから、ご指名させて頂き、マイクをお渡ししますので、できましたらお名前と枚方市在住や在勤について教えてください。
- ・皆様の質問機会をできるだけ設けたいと思いますので、1回あたりの質問は『1問ずつ』をお願いします。
- ・円滑な進行のため、できる限り簡潔な質疑にご協力をお願いいたします。
- ・市駅周辺再整備以外の市の施策全般などのご質問などについては、お答えできない場合があります。
- ・本説明会では、質疑応答は行いますが、苦情や陳情をお受けする場ではありません。

參考資料

○枚方市駅周辺再整備への主なご意見と市の考え

主なご意見（要旨）	市の考え方
1. 再整備基本計画全体に関するご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・市有地を売却しないこと。 	<p>④⑤街区の市有地については、⑤街区への配置を予定している新庁舎の敷地や枚方市駅から⑤街区方面への「みどりの景観軸」の形成に向けた公園・広場の拡充、民間のノウハウを活用したまちの魅力を高める複合施設（子育て支援や教育、医療施設、公園・広場と連携した健康増進施設、都市型居住施設など）などの有効活用を検討する考えです。</p> <p>この内、民間活力の導入などを進める市有地については、売却を基本としながら、本市の財政状況などを踏まえ、定期借地なども含めて有効な手法を幅広く検討していきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・再整備基本計画に沿って事業の早期実現をすること。 ・都市計画決定のスケジュールを明確化すること。 ・時間をかけて検討をすること。 	<p>④⑤街区の土地区画整理事業に関する都市計画決定の時期は、④街区の区域拡大に伴い、地権者へのより丁寧な事業説明や勉強会等の実施によりご理解をいただくこと他、関係機関との協議や環境影響評価の実施等に時間を要することとなったため、令和6年度末としています。</p> <p>その上で、ご意見を踏まえ、スケジュールを含め、まちづくりの情報を広く発信しながら、事業の推進に取り組んでいきます。</p>
2. 新庁舎の建設に関するご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・位置条例が否決されたという市議会の結果や市民意見を尊重すること。 	<p>令和4年9月定例会で、庁舎の位置に関する条例の一部改正が可決されなかった理由として、「市民への説明・周知不足」や「④街区の新たな道路の役割を整理する必要性」などのご意見をいただきました。</p> <p>このため、従来からの広報ひらかたや出前講座に加え、新たな動画配信や各校区コミュニティ協議会のご希望に応じた説明、Webアンケートなどの対応に努めるとともに、ウォークアブルなまちづくりに向けた新たな道路の考え方について具体的な検討を進めていきます。</p> <p>特に、今回のパブリックコメントでは、市民の皆さまへのご説明や意見聴取について、多くのご意見をいただいております。⑤街区へ庁舎を移転する理由や効果をご理解いただけるように、引き続き、様々な媒体による情報発信を行うとともに、改めて市民説明会を開催する考えです。</p> <p>今後においても、より魅力的なまちとなるように枚方市駅周辺におけるまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎を移設しないこと。 ・市民会館（大ホール）等跡地へ新庁舎を建設すること。 ・枚方市駅に近い場所へ新庁舎を建設すること。 ・⑤街区の新庁舎は他市と比べても駅から歩いて行ける便利な場所である。 ・市役所に行かなくても手続きができる市役所をめざしてほしい。 ・オンライン化が進む中においても、市民が直接出向いて相談などができる立ち寄りやすい市役所にする。 	<p>新庁舎の⑤街区への配置は、④街区と⑤街区におけるそれぞれの整備パターンについて、賑わいの創出などめざましい姿の実現やその波及効果、防災・減災、国・府・市の公有財産の最適利用など、総合的な観点から評価を行った結果、現位置と比べ、枚方市駅からの距離は遠くなりますが、⑤街区が優位であることから、再整備基本計画及び新庁舎基本構想にお示ししたものです。</p> <p>④街区の現在の庁舎を⑤街区に移転することにより、枚方市駅から新庁舎までみどりの大空間を形成し、新たなまちの魅力を創出などを図る考えです。</p> <p>また、⑤街区は、枚方市駅及び宮之阪駅から近い距離に位置し、地域の幹線道路である府道枚方茨木線の沿道であるなど、高い交通利便性を有しており、バスや自動車等の多様な交通手段により来庁する際のアクセスの確保は可能であると考えています。</p> <p>あわせて、DXの観点を取り入れ、③街区での新たな市民窓口や市内の各エリアにおいて充実した行政サービスの実現に向けた検討を進めていく考えです。</p> <p>今後も引き続き、⑤街区へ庁舎を移転する理由や効果について、市民の皆様にご理解いただけるように、枚方市駅周辺再整備の考え方について、様々な媒体による情報発信を行うとともに、改めて市民説明会を開催する考えです。</p>

○枚方市駅周辺再整備への主なご意見と市の考え

主なご意見（要旨）	市の考え方
3. 事業費及び他の施策との優先に関するご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・市負担が大きくなるように再整備事業費の見直しを行うこと。 ・市税を本事業ではなく福祉や教育等に使うこと。 ・保育所の民営化等をやめてほしい。 ・子育てや福祉、教育、まちづくりに投資してほしい。 	<p>枚方市駅周辺再整備の実施にあたりましては、概算事業費を算出し、市の負担額を抑制するため、国費の積極的な導入や市有財産の有効活用を図るとともに、本市の「長期財政の見通し」に基づき、適宜、財政状況を確認しながら、再整備にかかる所要額を確保し、着実に事業推進に取り組む考えです。</p> <p>また、施策を複合的に実現させる視点から、枚方市駅周辺再整備において、子育てや福祉、教育など取り組むべき様々な施策を相互に関連させながら、具体化に向けた取り組みを進めていく考えです。</p>
4. 公園等オープンスペースの設置に関するご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・公園等のオープンスペースを設置すること ・枚方市駅前から公園やオープンスペースを無くさないこと。 ・災害の備えのためのオープンスペースを確保すること。 ・ニッペパーク岡東中央（岡東中央公園）を残してほしい。 	<p>再整備基本計画では、土地利用の方向性として、枚方市駅から⑤街区の新庁舎までシンボリックな景観軸を形成することとしています。ニッペパーク岡東中央の公園機能を確保の上、公園・広場空間としてみどり・憩い・賑わいの各機能を拡充することにより、多くの人の交流促進や地域活動の発展に貢献できるものと考えており、このような公園・広場の整備イメージをお示ししています。</p> <p>今回、再整備基本計画に「②、④街区では、駅前広場とニッペパーク岡東中央の公園・広場としての現状の機能等を維持しつつ、さらに拡充整備することにより、まちの魅力を高める連続したみどりの大空間を形成します。」としています。</p> <p>また、公園・広場は、大規模な災害発生時などの一時避難場所として活用することも想定しており、非常時に対応した防災施設の設置などについても検討する考えです。</p>
5. 市民への説明・意見聴取に関するご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民意見をより聴取すること。 ・小学校区毎など身近な所で市民説明会をすること。 ・市民説明会を開催すること。 	<p>これまで、再整備基本計画及び新庁舎基本構想の策定時には、パブリックコメントを行い、策定後には、広報ひらかたや市ホームページ、SNS、出前講座など様々な手法で情報を発信するとともに、公募による市民ワークショップやアンケート調査などを実施しました。</p> <p>また、ご希望をお伺いの上、校区コミュニティ協議会への説明等を実施するとともに、今回の再整備基本計画の改訂版(素案)につきましても、パブリックコメントや市民説明会を開催し再整備基本計画の周知を図ってきました。</p> <p>パブリックコメントでも市民の皆さまへのご説明・意見聴取について多くのご意見をいただいていることから、引き続き、様々な媒体による情報発信を行うとともに、改めて市民説明会を開催する考えです。</p> <p>また、④⑤街区の土地区画整理事業については、都市計画手続きや環境影響評価手続きを実施する段階において、説明会の開催や意見書の提出等の機会を設けることになるなど、各街区のまちづくりの具体化を図る際には、適切に説明等を行う考えです。</p>

○枚方市駅周辺再整備への主なご意見と市の考え

主なご意見（要旨）	市の考え方
6. 公共施設（図書館、児童館、保健所等）設置に関するご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館や文化施設、児童館、保健所等の市民のための施設を設置すること。 ・枚方市駅周辺に会議室等のスペースを増設してほしい。 	<p>④⑤街区では、サウンディン型市場調査の結果を踏まえ、市有地を活用した民間活力導入エリアにおいて、体験型の文化芸術施設や子育て支援施設、教育施設など、まちの魅力を高める施設などの活用を検討する考えです。</p> <p>今後、まちづくりの具体化にあわせて、市有地の活用等についてさらなる検討に取り組みます。</p> <p>また、③街区では、市街地再開発事業により整備される複合施設の中に、令和6年度前期の供用開始に向け、こども家庭センターや生涯学習交流センター、図書館など市民が利用できる施設の設置を進めています。また、保健所については、現在の保健センターを改修して保健所を移転する計画です。</p>
7. 道路に関するご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・④街区を分断するような「新たな道路」は必要性があるのか。 	<p>新たな道路については、②街区から⑤街区方面までの道路として、枚方市駅前への通過交通の抑制と安全・快適で歩いて楽しい空間形成の一環として整備するとともに、土地利用の促進を図るためにも必要な道路としています。</p> <p>④街区では、歩行者を中心としたウォークブルなまちとして、拡充する公園・広場とまちの魅力を高める複合施設が連携して交流や賑わいが促進されることをめざしており、通過交通の流入抑制と歩行者空間の形成などの検討をします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市駅南口駅前広場を拡張するべきである。 	<p>枚方市駅南口駅前広場については、駅前広場への一般車両の流入抑制と公共交通の利便性の向上並びに拡充する公園・広場と一体となった賑わいとゆとりのある駅前空間の創出等を図るため、再整備と機能拡充に取り組む考えであり、今後、②街区のまちづくりの具体化に合わせて検討を進めます。</p>